

薬効分類	一般名	商品名	一般	硬膜外麻酔のとき
------	-----	-----	----	----------

抗血栓薬

抗凝固薬

抗凝固剤 (ワーファリン)	ワルファリンカリウム	ワーファリン錠	3-5日	5日
------------------	------------	---------	------	----

抗凝固剤 (DOAC)	ダビガトランエトキシラート	プラザキサカプセル	★1	4日
	リバーロキサバン	イダザレルト錠	1日(出血リスク小) ただし Ccr15-29mL/minのとき36時間 2日(出血リスク中～大)	2日
	アピキサバン	エリキュース錠		2日
	エドキサバン	リクシアナ錠		2日

★1	腎機能(Ccr)	出血リスク(小)	出血リスク(中～大)
	80>	1日	2～4日
	50～80	36時間	2～4日
	30～50	2日	4日

抗血小板薬

血小板凝集抑制剤 (アスピリン含有)	アスピリン	バイアスピリン錠	7日	10日
	アスピリンダイアルミネート	バファリン配合錠・アスファネート配合錠・ニトギス配合錠・バツサミン配合錠・ファモター配合錠		
	アスピリン/ランソプラゾール	タケルダ配合錠		
	アスピリン/ボノプラザン	キャブピリン配合錠		

血小板凝集抑制剤 (チエピリジン誘導体)	チクロピジン	パナルジン錠	7日	14日
	クロピドグレル	プラビックス錠	14日	14日
	プラスグレル	エフィエント錠	14日	14日
	アスピリン/クロピドグレル	コンブラピン配合錠・ロレアス配合錠	14日	14日
血小板凝集抑制剤 (ピリミジン群)	チカグレロル	ブリリント錠	5日	5日

血小板凝集抑制剤 (シロスタゾール)	シロスタゾール	プレタール錠	3日	4日
-----------------------	---------	--------	----	----

その他

血小板凝集抑制剤	イコサペント酸エチル	エパデール	7日	10日
	オメガ-3脂肪酸エチル	ロトリガ	7日	10日
	サルボグレラート	アンブラーグ錠	1日	1日

血小板凝集抑制剤 (プロスタグランジン製剤)	リマプロスタアルファデクス	オパルモン錠	1日	1日
	ベラプロストナトリウム	プロサイリン錠・ドルナー錠	1日	2日
	ベラプロストナトリウム(高容量)	ベラサスLA錠・ケアロードLA錠	1日	2日

冠血管拡張薬	ジピリダモール	ベルサンチン錠	2日	2日
	塩酸ジラゼブ	コメリアンコーワ錠	2日	2日
	トラピジル	ロコルナール錠	3日	3日

脳循環代謝改善	イブジラスト	ケタスカプセル	3日	3日
	ニセルゴリン	サアミオン錠	2日	2日
	イフェンプロジル	セロクラール錠	2日	2日

糖尿病薬・抗肥満薬

SGLT2阻害剤	イブラグリフロジン	スーグラ錠・スージャヌ配合錠	3日	乳酸アシドーシス・ケトアシドーシスのリスク回避のため
	トホグリフロジン	デベルザ錠		
	ダバグリフロジン	フオーシーガ錠		
	ルセオグリフロジン	ルセフィ錠		
	カナグリフロジン	カナグル錠・カナリア配合錠		
	エンバグリフロジン	ジャディアンス錠・トラディアンス配合錠		

ビグアナイド	メトホルミン	メグルロ錠・グリロン錠・メグ配合錠 エクメト配合錠・メアナ配合錠・イニシク配合錠	3日	乳酸アシドーシス・ケトアシドーシスのリスク回避のため
	ブホルミン	ジベトス錠		

DPP4阻害剤(週1製剤)	トレラグリプチン	ザファテック錠	前日	週1製剤 持続作用あり。 低血糖リスク予防のため。 Ope前日が投与日るとき中止。
	オマリグリプチン	マリセブ錠		
GLP1受容体作動薬(週1製剤)	デュラグルチド	トルシティアテオス注	前日	
	セマグルチド	オゼンピック注・ウコービ注		
GLP/GLP1受容体作動薬(週1製剤)	チルゼパチド	マンジャロアテオス注	前日	

経口糖尿病薬	すべて		当日	<u>当日の血糖コントロールは医師に確認</u>
インスリン				
GLP1受容体作動薬(毎日製剤)	ビクターサ注・ハイエッタ注・ビデュリオン注・リスミア注			
インスリン+GLP1受容体作動薬	インスリンテグルテグ + リラグルチド	ゾルトファイ注		

降圧・心不全

ACE阻害剤 (アンジオテンシン変換酵素阻害薬)			当日	術中の低血圧が起こりやすくなるため
ARB (アンジオテンシンII受容体拮抗薬)				
ARNI(アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬)	サクビトリルバルサルタン	エンレスト錠		
SGLT2阻害剤	ダバグリフロジン	フオーシーガ錠	★2 3日(心不全悪化注意)	乳酸アシドーシス・ケトアシドーシスのリスク回避のため
	エンバグリフロジン	ジャディアンス錠		

★2 「術前の終日絶食日 中止」を学会推奨。DM・心不全・CKDの適応あり服用理由が明確でない場合があるため3日に統一

免疫抑制剤・リウマチ

免疫抑制剤			主治医判断	免疫力低下
生物学的製剤			主治医判断。 TNFα阻害剤 半減期の3~5倍推奨 他のバイオ 個々の症例による	免疫力低下
JAK阻害剤	ジセラカ・セルヤンツ・オルミエント・スマイラフ リンウオック		3日前	免疫力低下

骨粗鬆症

骨粗鬆症治療薬 (エストロゲン受容体モジュレーター)	ラロキシフェン	エビスタ錠	3日	血栓形成リスク回避のため
	パゼドキシフェン	ビピアント錠		

抗精神作用薬

三環系抗うつ薬	トリプタノール・アナフラニール・トランニールなど		1日	中枢神経抑制作用増強。不整脈・心血管系の副作用増加。
---------	--------------------------	--	----	----------------------------

抗パーキンソン薬

抗パーキンソン(MAO阻害)	セレギニン・ラサギリン サフィナミド	エフピー錠・アジレク錠・イクワイ錠	14-21日	高度の興奮・精神錯乱を起こすため。体内でのMAO活性回復に14日かかる。ベチジン使用の場合14日あける。
----------------	-----------------------	-------------------	--------	--

前立腺肥大・ED, 肺高血圧症・肺線維症

前立腺肥大治療薬 ED 肺高血圧症	タダラフィル	ザルティア錠・シアリス錠・アドルシカ錠	2日	硝酸剤・NO(ニトログリセリン・硝酸イソルビド)との併用により降圧作用増強(★3)
	シルденаフィル	レバチオ錠・バイアグラ錠		
肺高血圧治療薬	リオシグアト	アデムバス錠	5日	(★3)上記とおなじ
	セレキシパグ	ウプトラビ錠	1日	出血傾向助長
肺線維症・間質性肺炎	ニンテダニブ	オフェバカプセル	4日	創傷治癒遅延

抗癌剤・女性ホルモン剤・乾癬治療剤・断酒補助剤

別表参照

参考文献

添付文書・適正使用ガイド・インタビューフォーム
メーカー回答

循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン(日本循環器学会)
2020JCSガイドラインフォーカスアップデート版冠動脈疾患患者における抗血栓療法(日本循環器学会)
抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン(日本麻酔科学会)
心不全治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するRecommendation(日本循環器学会・日本心不全学会)

抗癌剤

抗癌剤			医師確認	免疫力低下
抗癌剤(分子標的薬)	ベバシズマブ	アバスタチン注	6-8週前に中止・4週後再開 ポート挿入等の小手術後の再開は7日後	創傷治癒遅延・出血リスク
	エペロリムス	アフィニール錠	7日前に中止、4週後再開	
	アキシチニブ	インライタ錠	1日前に中止・4週後再開	
	イブルチニブ	イムブルビカパセル	3～7日前に中止	
	パゾパニブ	ウ・トリエト錠	14日前に中止、4週後再開	
	カボサンチニブ	カボ・メティクス錠	術前規定なし・術後10日後再開 (大手術2か月後)	
	ラムシルマブ	サイラムザ注	4週前に中止・4週後再開 ポート挿入等の小手術後の再開は7日後	
	アフリベルセプトベータ	ザルトラップ注	4週前に中止(大手術は6週間)・4週後再開	
	スニチニブ	ス・ステートカプセル	10日前に中止、4週後再開	
	レゴラフィニブ	スチバーガ錠	14日前に中止、4週後再開	
	テムシロリムス	トールセル注	14日前に中止、4週後再開	
	ソラフェニブ	ネクサパール錠	7日前に中止、4週後再開	
	レンバチニブ	レンビマカプセル	7日前に中止、4週後再開	
抗癌剤(去勢抵抗性前立腺癌)	塩化ラジウム	ゾーフィコ静注	中止規定なし、半減期11日	放射性医薬品、被爆のおそれ

女性ホルモン剤

卵巣ホルモン製剤	結合型エストロゲン	プレマリン錠	4週間前中止・2週間後再開	血栓形成リスク回避のため
黄体ホルモン製剤 (乳がん・四球体がん)	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	ヒスロンH錠	術前注意・術後7日中止	
卵巣・黄体ホルモン配合剤 (月経困難症・機能性子宮出血)	エストロゲン + プロゲステロン製剤	アンジュ・シンフェーズ・トリキュラー・ファボワール・マーベロン・ラベルフィーユ・オーソム	4週間前中止・2週間後再開	血栓形成リスク回避のため
卵巣・黄体ホルモン配合剤 (閉経後骨粗鬆症)	エストロゲン + プロゲステロン製剤	メルエイトコンビパッチ	中止期間は様々報告あり。 原則28日とし 主治医判断。	血栓形成リスク回避のため
卵巣・黄体ホルモン配合剤 (閉経後骨粗鬆症)	エストロゲン + プロゲステロン製剤	ウエルナラ配合錠		
卵巣ホルモン製剤	エストラジオールと誘導体	ジュリナ錠・エストラーナテープ・ディビゲル・ルエストロジェル・プロキノンテープ・ペラニンテープ・プロセキソール錠		
	エストジオール	エストリール錠・エストリール錠錠・ホーリン錠・ホーリン錠錠・ホーリン注・エストリール錠・エストリール錠錠・エストリール錠		
	テストステロン・エストラジオール	ダイホルモンテープ・プリモジアンテープ		
黄体ホルモン製剤	プロゲステロン	エフメノカプセル		

乾癬剤

			主治医判断 半減期の3～5倍の休薬推奨	
IL12/IL23阻害剤	ウステキヌマブ	ステラーラ (半減期21日)	9週間前中止	創傷治癒遅延
IL23阻害剤	グセルクマブ	トレムフィア (半減期18日)	6週間前中止	
	リサンキズマブ	ヘキソラブ (半減期 ガイドライン11日、メーカーとしては28日)	4～12週前中止	
	チルドラキズマブ	イルミア (半減期 23.4日)	10週前中止	
IL17阻害剤	セクキヌマブ	コセンティクス (半減期 27日)	通常の投与間隔プラス7日 (米国リウマチ学会)	
	イクセキツマブ	トルツ (半減期 13日)	6週間前中止	

断酒補助剤

生活改善	ナルメフェン	セリンクロ	7日前中止、7日後再開(オビオド使用の場合)
------	--------	-------	------------------------